



自然の光と風を上手に採り入れた明るいLDK。冬場は室内の奥まで光が届く。床材は無垢、壁や天井には珪藻土等、自然素材を使用。



Before 1階リビングは暗い印象。縁側部分は必要以上に窓が多く、冬はとても寒かった。



▲落葉樹は冬場は日差しを遮らず、室内を暖める。



【愉しむ】をデザインする

機能面だけでなく、日々の生活の中で大切な事。

それは「生活を愉しむ」事。お部屋に遊び心をプラス、家族の一員の猫と愉しむ。



【断熱工事】快適性の重要な要素が断熱。外周に面する、床壁天井全てにセルロースファイバーを施工。

【気密工事】可変透湿機能のある防湿気密シートを外周部に施工。隙間に気密テープ処理をし、熱の逃げを更に防ぐ。



【外付けブラインドシャッター】可動式で日射と風を調整し、夏場は特に強い日差しを遮る。



【日当たり・通風シミュレーションの検証】

地域ごとの日照・日射データ、風配図に基づき、季節ごとの快適性を検証する。

真冬に20度を下回らない家

～光と風と断熱のデザイン～

《リフォームの動機》

以前の住まいは、現在の家族構成にしては無駄に広く、生活スタイルに合わなかったため、実用的な間取りにしたかった。夏は暑く冬は寒かったため、断熱性を向上し、省エネで快適な生活になることが目標だった。

《改装》

続き間の和室や縁側があった1階南面は自然の光と風を季節に応じて効果的に取り込める間取り計画をした。専用CADソフトによるシミュレーションにより、日当たり・通風により効果的な窓計画を行った。季節毎の日射角度の違いから、冬は光を室内の奥まで取り込み、夏は強い日射を遮るために外付け可動式ブラインドシャッターを設置。断熱工事は外周部（床壁天井）全面にセルロースファイバーを施工。更に気密工事で隙間を極力抑えた。

省エネ機器『全熱交換機』で、換気による暖房冷房負荷を抑える。

《施主の感想》

断熱気密工事の強化で、冬は夜寝る前に暖房を切っても、朝は20度を下回らないのでとても快適です。明るく快適になったリビングに、子供達が自然に集まるようになり省エネかつ家族の会話が更に増えたことがとても嬉しいですね。

《住宅性能》

・断熱性能 Q値(熱損失係数) ≈ 1.4 気密性能 C値(相当隙間面積) ≈ 0.7

・日当たり・通風シミュレーションによる窓計画

・全熱交換機

